

発行日：2026年01月14日

文書番号：G-011-00

改定日：2026年1月26日

改訂No.：1

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名 アクティヴガスケット AS-22
会社名 株式会社アサヒ産業
住所 埼玉県川口市朝日4-21-62
担当部署 空調部
電話番号 048-227-5121
ファックス番号 048-227-5122
整理番号 G-011

2. 危険有害性の要約

GHS分類 物理化学的危険性 : GHS分類に該当するデータなし
GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 特になし
GHSラベル要素
絵表示 : 該当なし
注意喚起語 : 該当なし
危険有害性情報 : 該当なし
注意書き : 該当なし

3. 組成及び成分情報

(ガスケット)

単一製品・混合物の区分 混合物

一般名 シリコンの発泡体

主要原料・添加物	CAS No.	含有量 (%)
主要原料：シリコンポリマー	—	非公開
付加物 : シリカ	—	非公開
添加物 : 酸化鉄	—	非公開
添加物 : その他	—	非公開

(粘着剤)

単一製品・混合物の区分 混合物

一般名 アクリル粘着物

主要原料・添加物	CAS No.	含有量 (%)
主要原料：ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	5 - 9 5
添加物：粘着付与樹脂	—	5 - 9 5
付加物：リリースライナー（ベース）	—	—

(りけい紙)

単一製品・混合物の区分 混合物

一般名 紙

主要原料・添加物	CAS No.	含有量 (%)
主原料：セルロース	—	8 3
表面材：低密度ポリエチレン	9002-88-4	1 6
表面材：珪素化合物（シリコーン）	—	1

4 応急措置

- 吸入した場合：通常の使用で吸入することはない。但し加熱または燃焼などによって生じるガスを吸入した場合は直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ安静にする。その後異常があれば医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：常温では無害。高温溶融状態では火傷を起すため、患部を多量の清浄な水で洗い、冷やした後火傷の応急処置をする。必要によって医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合：直ちに清浄な水で洗浄し、症状によっては眼科医の診断を受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を継続する。
- 飲み込んだ場合：極力吐き出させた後、水で口の中を洗浄し、症状によっては医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消化剤：消化器（粉末・泡沫・炭酸ガス）、防火砂、大量の水
- 火災時の特有の危険有害性：火災によって刺激性、腐食性及び／又は毒性のガス（アセトアルヒド、CO、CO₂など）を発生するおそれがある。
- 特有の消火方法：不完全燃焼時には、臭気を伴うガスが発生するので、閉鎖された場所における消火にあたっては、酸素ボンベ等の呼吸に必要な酸素を供給することができる装備をした上で消火作業を行なう必要がある。
- 消火を行なう者の特別な保護具及び予防措置：呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 鼻や口からの摂取、眼に入らないように留意する。
保護具及び緊急措置	: 特に保護具などは必要ない。
環境に対する注意事項	: 環境においては長期間分解せず、環境汚染の原因となるため、河川などに放出しない。海洋生物、鳥類が誤って食べることがあるので、いかなる海洋や水域にも投棄、放出をしてはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 地面や床面に落ちた場合、足下を滑らせる危険があるので、速やかに掃き集める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱いや設備での注意	: 禁煙、周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
保管上の注意	: 有害性ガスの発生があるため、火気厳禁。直射日光、白熱灯や水銀灯等高温や強い紫外線を出す照明の近くには保管しない。また、保管場所は施錠して保管する。
概要	: 適切な取扱いを行なう限り、人体に悪影響を及ぼしたという報告は、これまでにない。
毒性	: 適用されず。
安全性	: 通常の手取り扱いは、問題ない。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	: 適用されない
設備対策	: 通常の手取り扱いは問題ない。
保護具	: 通常の手取り扱いは必要ない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: やわらかいシート状
色	: 赤褐色（ガスケット）
臭い	: かすかな臭気
融点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 情報なし
可燃性	: 難燃性
引火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 該当しない
溶解度	: 水に不溶
蒸気圧	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし
比重（相対密度）	: 情報なし
溶媒に対する溶解性	: 粘着剤はトルエン、酢酸エチルなど有機溶剤に膨潤又は溶解する。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。
反応性	: 自己反応性なし。
避けるべき条件	: 高温に曝されると、分解し可燃性ガスを発生する。
危険有害な分解生成物	: 燃焼時によりCO、CO ₂ 、NOX等の有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	: 乾燥後微量残留物のため知見無し（エチルアセテート）
皮膚腐食性／刺激性	: 知見なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 眼以外に鼻、喉に刺激がある場合がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 知見なし
生殖細胞変異原性	: 含有するエチルアセテートは変異原性あり（人遺伝子へ、影響する可能性あり）。
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	: 知見なし
特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）	: 知見なし
誤えん有害性	: 知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄の方法	: 各自治体の条例に従って焼却などの処理を行なう。委託する場合は、許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
-------	--

14. 輸送上の注意

注意事項	: 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行なう。水漏れ、高温放置、直射日光を避ける。
米国の道路・鉄道法令情報	: 該当しない
国際海上（IMDG）	: 該当しない
国際航空（ICAO/IATA）	: 該当しない

15. 適用法令

- 消防法 指定可燃物（合成樹脂類） : ガスケット
消防法（危険物第四類第一石油類） : 粘着剤
東京都火災予防例第34条 : ガスケット
労働省平成9年指針告示7号物質 : 粘着剤
第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）
作業環境評価基準（法第65条の2第1項）
各名称を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9）
各名称を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号、別表第9）
: 酢酸エチル並びにアクリル酸ノルマルブチル、トリレンジイソシアネート
化審法 優先評価化学物質（法第2条第5項）
: 酢酸エチル並びにアクリル酸ノルマルブチル、トリレンジイソシアネート

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものでもありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

【参考文献】

- 1) 産業中毒便覧（医歯薬出版）Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
- 2) 危険物船舶運送及び貯蔵規制化審法
- 3) 株式会社 住化分析センター他、研究報告
- 4) 厚生省環境衛生局 食品化学化編（講談社）
- 5) 作業環境評価基準・労働安全衛生広報
- 6) 労働省平成9年指針告示7号

【引用文献】

GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成基準（JIS Z7253:2019）

*本書記載内容はAS-22に該当するものであり、類似製品等には一切関係ありません
また、納品を証明するものではありません。

*本書記載内容は、発行日現在のものです。製品使用等、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。